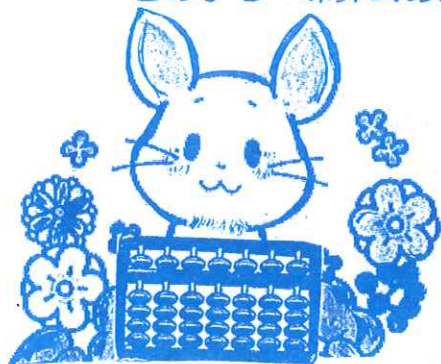


どの子も「珠算式あんさん」のできる子に!

創立70年大阪山本速算会



まぼろ

発行：大阪山本速算会事務局(大西信二)
大阪府守口市大久保町5-7-9

聴力を養う・・・ソロバン学習

人格形成する上に必要な要素の育成。

読上算はそろばん学習において最も上達する指導方法であり、教室の雰囲気にも元気が満ちあふれます。

先生が読み上げる数を耳(聴覚)で読み取り、脳に伝達してそろばん面で計算します。

その読上算から聴力とともに計算力が育成されます。

同様に、読上暗算では先生が読む問題を耳で聞き取り、脳に伝達、珠を浮かべて計算します。

いずれも、読み上げる指導者の問題を正しく聞き取る力(聴力)が大切な要素です。特に、読上算の程度が上がると、高度な読上算では、桁数と共に、読む速度も速くなり、その問題を

聞き取る力が大切なことです。人間の知覚能力は使わなければ衰えるため、読上算の練習は聴力を高めるためにも大切な学習方法なのです。教室では毎授業日、読み上げ算・読み上げ暗算を読んで生徒の集中力を高め、かけ算・わり算・みとり算の種目へ進めていきます。

このように読み上げ算・読み上げ暗算は聴力とともに集中力を高めるにも大切な種目と言えます。読み上げ算・読み上げ暗算による聴力を鍛えるとともに、誰からの意見をよく聴き、思考する人間に育てていただきたいものです。

新入生受付中

◇入学日：四月一日～十二日
◇年長・小学一年生から
入学案内書参照

伝票算検定試験
伝票暗算検定
珠算検定試験
暗算検定試験
試験日：四月八日(土)

令和五年度

春季学年別通信珠算競技大会
実施期間
四月二十四日(日)から
四月二十八日(金)まで
申込は、四月七日(金)まで
申込用紙を配布中。



【教育ひとくちメモ】

我が子のしつけは両親の責任です



家庭教育について、国民の父と称される哲学者・教育者の森 信三先生は、

「人間教育の真の基礎は家庭教育であり、その80%～90%までは、「母親」の責任です。学校教育は結局、知識を教えるところであり、人間教育という点では 大して期待しないほうがよい。」と語られ、さらに、・・・

「たとえば、お茶のつぎ方について、自分一人が飲む場合と二人で飲む場合、また三人で飲む場合と、そのどの場合でも、後にお湯が残らないようにすること、また途中で足りないのもう一度ポットを押さないようにと、いう加減というのですが、この加減が実は「知恵」の一つなのです。「知恵」を授けるのが家庭教育の一つです。」と、述べられています。

我が子の家庭教育は、生まれたときから接している母親が、常に子供のために
①「おはよう」の挨拶、②「ハイ」という返事、③履き物をそろえる、という基本的なしつけを身につかせる事が最も大切なことなのです。

ソロバンクイズ No.689

つぎの例にならって、「そろばんクリプト」を4つの式をつくってください。

例 1 2 3 4 5 答 3

5まいの数をつかって「たしたり」「ひいたり」「かけたり」「わったり」して答の数になるように、式をつくります。どの数カードも1回ずつ使います。

① $2 \times 5 = 10$ ② $10 - 4 = 6$ ③ $6 \div 3 = 2$ ④ $2 + 1 = 3$

または、① $5 - 4 = 1$ ② $1 + 3 = 4$ ③ $4 \div 2 = 2$ ④ $2 + 1 = 3$ ・・・など

問題 つぎの数カード5枚を使って、4つの式をつくって、答の数カード(5)をもとめてください。

2 4 5 6 8 答 5

① _____ ② _____
③ _____ ④ _____ = 5

できた人は4月10日までに提出してください

なまえ